

第12回(2)09/7/6(CS3年・荒井)

ネットワークプランニング

ルータ設定の演習

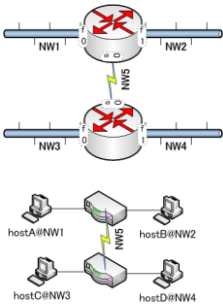
※本資料は授業後(数日以内)にWEBで閲覧できるようにします※

今日の予定;ルータ設定の復習と演習

- 簡単な復習(別資料)
 - ○サブネット化【復習】
 - ○IFの有効化とIPアドレス設定【復習】
 - ○シリアル接続とスタティックルート【復習】
 - ○RIP設定方法【復習】
 - (評価と試験について)
- ●演習;
 - (A)静的ルーティング設計
 - (B)RIP設計

演習;2つの課題の共通概要

- 複数のネットワーク(いずれもサブネット化しないクラスC)をルータで接続し、ルーティングしよう
- ルータは全部で2つ
 - ルータA、ルータB
 - ルータAとBの間はシリアル接続
- ネットワークは4個(ルータ間を除く)
 - NW1: 192.168.11.0/24
 - NW2: 192.168.22.0/24
 - NW3: 192.168.33.0/24
 - NW4: 192.168.44.0/24
 - これらNWはホスト1台で代表し、ルータにEthernet接続
- ルータ間ネットワーク
 - NW5: 192.168.55.0/24



演習(共通);IP設計

- ルータやホストのIPアドレスを決めよう
 - EtherのNWにおけるIPアドレスは、
 - ホストは小さいIPアドレスから
 - ルータは大きいIPアドレスから付けるものとする
 - シリアルのNWにおけるIPアドレスは、
 - ルータは小さいIPアドレスから付けるものとする
- 参考;クラスCについて
 - プライベートアドレス: 192.168.0.0 ~ 192.168.255.255
 - 上位3オクテッドがネットワーク部、下位1オクテッドがホスト部
 - つまりサブネットマスクは
 - /24
 - 255.255.255.0

演習;2題A,B

- A: 静的ルーティング
- B: 動的ルーティング(RIP)
 - 各々別々に作成
- 2つのファイルを提出
 - 二つの課題A,B共に構成(IPアドレスも)は全く同じ(右図参照)



上図は参考;IPなどは違ってきます

演習A;静的ルーティングの設定と提出

- 全ルータ(NW)において、全て静的ルーティングを使用
 - 各ルータにおいて、知らないNWを明確化してから静的ルーティングを設定
 - 各ルータにおいて、ルーティングテーブルを確認
 - Pingで通信確認
- ネットワークフォルダ(weekly)に、保存したファイルを提出
 - ファイル名は「学籍番号-A0706」とする
 - 完成してなくても(きちんと動作してなくても)、時間になったら必ず提出してください。

演習B;RIPの設定と提出

- 全ルータ(NW)において、全てRIPを使用
 - 各ルータにおいて、RIPに載せるNWを明確化する
 - 各ルータにおいて、ルーティングテーブルを確認
 - Pingで通信確認
- ネットワークフォルダ (weekly) に、保存したファイルを提出
 - ファイル名は
「学籍番号-B0706」とする
 - 完成していなくても(きちんと動作していなくても)、時間になったら必ず提出してください。

2009/07/06

第12回(2)ネットワークプランニング09(荒井)

7